



親と子の健康づくり

☎健康づくり課母子保健班(☎63-8711)
場所：旭市保健センター

種別	期日	対象・内容
健康診査	乳児健康診査	3月15日(金) 令和5年10月18日～11月25日生まれ
	1歳6か月児健康診査	3月13日(水) 令和4年8月6日～8月31日生まれ
	2歳児歯科健康診査	3月14日(木) 令和3年9月9日～9月30日生まれ
	3歳児健康診査	3月6日(水) 令和2年9月17日～9月30日生まれ
相談(申込制)	歯科相談	3月7日(木) 歯科医師による診察と歯科衛生士による歯磨き指導
	離乳食教室(前期)	3月8日(金) 対象：令和5年9月～11月生まれ 内容：離乳食(初期・中期)の進め方など
	両親学級	3月5日(火) <small>もくもく</small> 沐浴実習、出産後の手続きなど
	子育て学級	3月19日(火) 令和5年10月16日～令和6年1月9日生まれの第1子 内容：遊びの紹介や救急法(パパも参加できます)



健康インフォメーション

がん検診の申し込みを受け付け中

令和6年度がん検診の申し込みを受け付けています。自身の健康状態を継続的に確認しましょう。

申し込み方法／●インターネット(ちば電子申請サービス)から ●はがきなどに必要事項(住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、希望の検診名)を記入して郵送

●健康づくり課の窓口で直接

※肺・胃・乳・大腸・前立腺がん検診を過去2年以内、子宮頸がん検診を過去5年以内に1度でも受診している人は、申し込み不要。

申込期限／●インターネット・郵送：4月30日(火)

※必着。●窓口：市ホームページで確認してください。

検診の種類と対象年齢など

種類	内容	対象(令和7年3月31日時点)	自己負担金
肺	胸部レントゲン撮影	40歳以上	無料
胃	胃部バリウム造影		1,000円
ピロリ菌	ピロリ菌便中抗原検査	市の胃がん検診を受診する40～70歳の5歳刻み年齢で、ピロリ菌便中抗原検査を受けたことがない人	500円
乳房	マンモグラフィ検査(乳房レントゲン検査)	40歳以上の女性	1,000円
	乳房超音波検査	30～39歳の女性	
子宮	子宮頸部細胞診	20歳以上の女性	集団：1,000円 個別：1,300円
大腸	便潜血反応検査	40歳以上	400円
前立腺	血液検査(PSA測定)	50歳以上の男性	500円

※令和6年度から、自己負担金の額が変わります。

☎☎289-2595 旭市二の2132 健康づくり課成人保健班(☎63-8766)

献血に協力を！

期日	場所	受付時間
3月24日(日)	ショッピングセンターサンモール	10:00～12:00 13:30～16:00
3月29日(金)	旭市保健センター	10:00～11:45 13:00～16:00

※献血カードを持っている人は持参してください。

☎健康づくり課庶務企画班(☎63-8831)



予防接種

☎健康づくり課(☎63-8711)

【集団接種】 場所：旭市保健センター

種別	期日	受付時間	対象
BCG	3月1日(金)	13:15～13:40	生後5～12か月未満

【個別接種】 場所：各指定医療機関

種別	対象
ヒブ	生後2～60か月未満
小児の肺炎球菌	生後2～60か月未満
4種混合	生後2～90か月未満
水痘	生後12～36か月未満
麻しん・風しん混合	1期：生後12～24か月未満 2期：平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ
日本脳炎	1期：生後6～90か月未満 2期：9～13歳未満 特例対象者：平成19年4月1日以前生まれの20歳未満で、接種していない人
B型肝炎	生後12か月未満
ロタウイルス感染症	ロタリックス：出生6週0日後から24週0日まで ロタテック：出生6週0日後から32週0日まで
ヒトパピローマウイルス感染症	●小学6年生～高校1年生相当の女子 ●平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれの女子で、定期回数(3回)接種をしていない人(キャッチアップ接種)
高齢者の肺炎球菌	65・70・75・80・85・90・95・100歳、60～64歳で心臓などに障がいのある人 ※令和5年4月2日～令和6年4月1日に対象年齢になる、23価肺炎球菌ワクチンを今までに一度も接種していない人に限り、3,000円を助成(助成は1回)。助成期間は3月31日(日)までです。
成人男性麻しん・風しん混合(風しん抗体検査の結果が陰性の場合)	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性 ※クーポン券を使用して風しんの抗体検査が済んでいない人は、令和4年度に発行したクーポン券を使用してください(転入の人も含む)。



健康ワンポイントアドバイス

「CKDシール」を知っていますか

CKDとは

慢性腎臓病(CKD)は、尿蛋白^{たんぱく}が出る、糸球体ろ過量(GFR)が低下しているなど、腎臓の異常が続いている状態です。

CKDになると、脳卒中や心不全、心筋梗塞などのリスクが高まり、死亡率が上昇することが分かっています。適切な治療や生活習慣の見直しをせずにいると状態が悪化し、人工透析や腎移植が必要になることもあります。CKDは自覚症状がほとんどなく、症状が現れたときには、かなり進行している可能性があります。腎臓の機能は一度失われると元には戻りません。

現在、日本のCKD患者は1,330万人で、20歳以上の8人に1人と推計されています。そのためCKDは新たな国民病といわれています。

「CKDシール」を活用しましょう

千葉県ではCKDの重症化予防対策の一つとして、腎機能が低下した患者のお薬手帳に「CKDシール」を貼る取り組みを推進しています。お薬手帳に「CKD



シール]が貼ってあることで、腎機能が低下している患者に対して医師が腎臓に負担のない薬を処方し、服用量を調節することができます。また薬剤師が処方箋を確認することで、適切な用法・用量を守ることができ、腎機能の保護や副作用の軽減につながります。

新しい病院・複数の病院・薬局にかかるときは、必ずお薬手帳を提示して、医師の指示の下、定期的な受診と生活習慣の改善を心がけましょう。

【旭匠薬剤師会】

旭中央病院便り



<https://www.hospital.asahi.chiba.jp/>
 旭中央病院 ☎63-8111・代表

市民健康講座を開催

日時 / 3月5日(火) 1回目: 午後2時~2時20分、
 2回目: 午後2時30分~2時50分

演題 / 将来、介護を必要とする体にならないために~将来の生活のために節約・節電! 貯金をしよう! 「貯筋」もしよう! ~

講師 / 塙恵太 理学療法士

会場 / おひさまテラス

費用 / 無料

※申し込み不要。



電子処方箋に切り替えましょう

当院では国が推進している医療DX(デジタル技術)を

駆使して業務・経営・風土などを変革し、医療提供上の課題解決を目指すこと)の一環として、電子処方箋への切り替えを推進しています。

調剤を受ける薬局が電子処方箋に対応している場合は、電子処方箋の発行を希望してください。保険証の種類や処方医、処方のタイミングなどによっては、電子処方箋が発行できない場合がありますが、そのようなときは自動的に従来の処方箋が発行されます。

市内や近隣市町で電子処方箋に対応している薬局は、右のQRコードで確認できます。



電子処方箋のメリット

- マイナンバーカードを持っている人は、スマートフォンなどでマイナポータル画面から処方歴や、調剤歴、手術歴などを見ることで、日々の健康チェックができます。
- 国の情報参照に対応したクリニックなどでは、同じ情報が瞬時に連携し医療関係機関同士で情報共有が図られ、薬の飲み合わせチェックが強化されるなど、より安全な医療を提供することができます。